

testign	問題番号	問題文	正答	出題ページ	配点	図			
		<table border="1"> <tr> <th>選択肢 1</th> <th>選択肢 2</th> <th>選択肢 3</th> </tr> </table>	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3				
選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3							
1	1	次の文の (A) (B) (C) (D) に入る用語はどれか。「1970年代には、それまで売上高トップの (A) を (B) が抜き、(C) などの (D) が急速にその勢力を伸ばしてきました。」 (A)ダイエー (B) セブンイレブン (C) コンビニエンスストア (D) フランチャイズ・チェーン	(A)ダイエー (B)イオン (C) 日本型スーパーストア (D) ショッピングセンター	(A)三越百貨店 (B)ダイエー (C) スーパーマーケット (D) チェーンストア	6	1			
2	4	次の文の (A) (B) (C) (D) に入る用語はどれか。「顧客が購入しようとした商品が売場がない (A) を起こすことを防ぐために十分な数量を (B) しておくと同時に (C) (B) で、(D) や廃棄処分にならないように注意しなくてはなりません。」 (A)欠品 (B)在庫 (C)過剰な (D)値上げ	(A)発注の不備 (B)保管 (C)過少な (D)返品	(A)欠品 (B)在庫 (C)過剰な (D)値引き	11	1			
3	7	小売業の二つの特徴は何か。 すべてセルフサービス方式の販売方法をとっていること 販売価格は商品そのものに示されていること	売場が不特定多数の人が自由に出入退場できること 様々な商品を販売していること	商品の価格は決まっています、どの店に行っても同じ商品と同じ価格であること ロスの原因は、売場でのみ存在すること	19	1			
4	10	売場販売効率とスペース生産性の説明について正しいものはどれか。 売場販売効率とは売場または店舗1坪あたりの粗利益高であり、できるだけ高くすることが望ましく、売場販売効率を高めるためには売場面積を小さくすることが望ましい	売場販売効率とは売場または店舗1坪あたりの売上高で、またスペース生産性は陳列スペース当たりの売上総利益すなわち粗利益高のことである	売場販売効率は売場または店舗1坪あたりの粗利益高で、またスペース生産性は陳列スペース当たりの売上高のことである	23	1			
5	13	以下の表の空欄に入る数値はどれか。(小数点第二位四捨五入)	63.0%	71.0%	66.0%	26	3	○	
6	16	不明ロス率を求めるために必要な数値はどれか。 あるべき在庫高 (原価)	粗利益高	あるべき在庫高 (売価)	31	1			
7	19	顧客への対応がおろそかになった場合の影響について正しい説明はどれか。 売上への影響はあるものの、顧客への対応とロスとは無関係である	指示された業務を優先して、顧客への対応がおろそかになったとしても指示された通りにすべきである。	売上への影響はもちろんだが、顧客への対応のよさが顧客の不正行為の予防につながる	32	1			
8	22	現状、売上高が5億円で営業利益高が5千万円、ロス率が1.5%で、もしロス率を0.5%削減することで得られる営業利益高と、ロス率は変わらずに、同じだけの営業利益高を得るための売上高は総額でいくらなるか。ただし販売管理費比率や値入率は変わらないものとする。(この問題は、削減されたロス率と同じ率だけ営業利益率を改善するという前提に立っている。厳密には売上原価への影響は売価で求めたロスではなく換算された原価であるため、実際にはここで求めた数値と同じにはならない)	505,000,000円	525,000,000円	515,000,000円	34	3		
9	25	日本リテイリングセンターの調査によれば不明ロスの原因推定の実施状況は、あまり芳しくない。実際に調査し推定している企業の比率はどのくらいか 3-5割	3割以下	5割以上	46	1			
10	28	次の文の空欄 (A) (B) (C) に入るものはどれか。「これらのミスによる不明ロスを実際に明らかにするには、実地棚卸が必要である。棚卸とは英語表記では、在庫を数えること (A)、実際の在庫 (B) などがあり、帳簿上の在庫 (C) を理論在庫などと呼ぶこともあります。」 (A) stocktaking (B) physical inventory (C) book inventory	(A) count stock (B) inventory inspection (C) physical inventory	(A) book inventory (B) real inventory (C) theoretical inventory	50	1			
11	31	次の文の空欄 (A) (B) (C) に入るものはどれか。「商品管理の (A) が決められた手順で確実に実施されるための予防処置には (A) 管理が必要である。第一に手順や (A) が決まっており、(B) されていくなくてはなりません。つまり手順書もしくは (C) が整備されているということです。」 (A) プロセス (B) 図式化 (C) 就業規則	(A) 作業 (B) マニュアル化 (C) 管理方法	(A) プロセス (B) 明文化 (C) マニュアル	52	1			
12	35	実地棚卸の誤りがあると正しい粗利益や不明ロスが得られない。またその誤りは次の期への影響もある。次の表の空欄に入る正しい数値はどれか。☑粗利益高とロス高は小数点第一位四捨五入、粗利益高573 粗利益率23.4% ロス高15 ロス額0.93%	粗利益高548 粗利益率22.6% ロス高80 ロス額2.64%	粗利益高578 粗利益率23.6% ロス高20 ロス額0.82%	58	3	○		
13	38	次の空欄 (A) (B) (C) に入るものはどれか。「ジーンズ・ウェイドは、従業員が内部不正を犯すことを防ぐためには三つの強力なツールがあり、それは「(A)」「(B)」「(C)」であると述べている。」 (A) 内部通報制度 (B) マニュアル (C) 教育訓練	(A)つながらり (B)貢献 (C)配慮	(A) メンター制度 (B) 個人面談 (C) 納得性の高い報酬	63	1			
14	41	「キャッシュドローからの現金抜き取り」「いったん登録したものを、その都度取消を行う」「レジの空打ち」のうち、レジ点検で現金実査をしても差異が生じないために容易に不正を発見できない不正行為はいくつあるか。 ふたつ	ひとつ	ひとつもない	68	1			
15	44	内部通報制度についての説明で正しいものはどれか。 まず、行わなくてはならないのは経営トップからの従業員への周知である。またどのように内部通報制度が運用されるのかを従業員が理解し、透明性を確保するために規定が整備されていることが必要である。実際に運用にあたっては窓口で内部通報があった場合は、店舗監査部門が調査を行い、その結果を規定に沿って定められた経営部門に報告が行われる。その上で結果は、必ず通報者にフィードバックしなくてはならない。	まず、行わなくてはならないのは経営トップからの従業員への周知である。またどのように内部通報制度が運用されるのかを従業員が理解し、透明性を確保するために規定が整備されていることが必要である。実際に運用にあたっては窓口で内部通報があった場合は、店舗監査部門が調査を行い、その結果を規定に沿って定められた経営部門に報告が行われる。その上で結果の内容によっては通報者にフィードバックしなくてもよい。	まず、行わなくてはならないのは経営トップからの従業員への周知である。またどのように内部通報制度が運用されるのかを従業員が理解し、透明性を確保するために規定が整備されていることが必要である。実際に運用にあたっては窓口で内部通報があった場合は、店舗監査部門が調査し、問題が明らかになれば、是正指導を行う。その上で是正された結果を経営部門に報告する。その上で結果は、必ず通報者にフィードバックしなくてはならない。	73	1			
16	47	期末在庫で架空在庫を計上することなしに、売価還元法を悪用して粗利益を増やすことができる。以下の表で、期中に原価合計600、売価合計1500を仕入れることで粗利益率と粗利益高はどれだけ増やすことになるか。☑粗利益率は小数点第三位四捨五入、粗利益高は小数点第一位四捨五入	粗利益率は0.88%、粗利益高は178増える	粗利益率は0.99%、粗利益高は220増える	粗利益率は1.13%、粗利益高は238増える	81	3	○	
17	51	「窃盗症」「病的盗癖」などと呼ばれる精神疾患のひとつを何と呼ぶか。 サイコソジカルマニア	ショプリフティングマニア	クレプトマニア	86	1			

Q5

項目	数値
期首在庫 (原価)	750
期中仕入 (原価)	5,800
期中売上 (売価)	9,700
期末在庫 (売価)	700
期中売上 (原価)	
期中原価率	
粗利益高	
粗利益率	

$$(750+5800)/(9700+700)=6550/10400=0.6298$$

Q12

項目	今期		翌期	
	正しい	間違い	正しい	間違い
期首在庫高 (原価)	1,000	1,000		
期中在庫高 (売価)	1,250	1,250	1,200	1,185
期中仕入高 (原価)	1,800	1,800	1,900	1,900
期中仕入高 (売価)	2,500	2,500	2,500	2,500
期中売上高 (売価)	2,500	2,500	2,450	2,450
期末在庫高 (売価)	1,200	1,185	1,200	1,215
粗利益高	608	600	565	
粗利益率	24.3%	24.0%	23.1%	
ロス高	50	65	50	
ロス率	2.00%	2.60%	2.04%	

まず、翌期の「間違い」の期首在庫 (原価) を求める

$$1185 \times 0.76 = 900.6$$

$$\text{粗利益率} = 1 - (901 + 1900) / (2450 + 1215) = 1 - 0.7643 = 0.2357$$

$$\text{粗利高} = 2450 \times 0.2357 = 577.5$$

$$\text{ロス高} = 1185 + 2500 - 2450 - 1215 = 20$$

$$\text{ロス率} = 20 / 2450 = 0.00816$$

Q16

項目	現状
期首在庫高 (原価)	8,005
期首在庫高 (売価)	11,100
期中仕入高 (原価)	12,600
期中仕入高 (売価)	21,000
期中売上高 (売価)	21,100
期末在庫高 (売価)	10,600

現状

粗利益率

$$1 - (8005 + 12600) / (21100 + 10600) = 1 - 20605 / 31700 = 0.35$$

$$\text{粗利益高} = 21100 \times 0.35 = 7385$$

改ざん

$$\text{期中仕入} = 12600 + 600 = 13200$$

$$\text{期末在庫} = 10600 + 1500 = 12100$$

$$\text{粗利益率} = 1 - (8005 + 13200) / (21100 + 12100) = 1 - 21205 / 33200 = 0.3613$$

$$\text{粗利益高} = 21100 \times 0.3613 = 7623.4$$

$$\text{増えた粗利益率} = 0.3613 - 0.35 = 0.0113$$

$$\text{増えた粗利益高} = 7623.4 - 7385 = 238$$